

令和4年度(令和3年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	13-14																																						
PDCA	主要事業名	知多半田駅前再開発ビル 商業施設支援事業	部課名	市民経済部 産業課	担当	赤坂																																						
					内線	321																																						
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 2 - 1 - 4 単位施策： 商工業 全体事業期間： 令和 3年度 ~ 3年度 全体事業費等： 6,505 千円 会計 一般会計 歳出科目 06.01.02.07.57 3か年実施計画（当該年度事業費等）： 6,500 千円																																											
	事業概要等	事業概要： 中心市街地の各施設であるクラシティの利用しやすい環境の整備を図るため、駐車場利用補助や商業施設の賑わいづくりの支援を行い利用促進につなげる。クラシティ商業床の地権者であるため、修繕積立金費を負担する。 事業目的： 駐車場の利用補助の実施に加え、商業床から得られる賃料収入を財源に利用促進に繋がる事業に対し補助を行うことでクラシティの集客力を向上させる。 事業内容： 知多半田駅前再開発ビル商業施設利用促進補助金、知多半田駅前再開発ビル大規模修繕積立金 問題点・課題等： 土地区画整理事業により公的サービスなどの都市機能の集積や道路整備が進んだものの、街に活気はなくクラシティにおいても例外ではない。																																										
	予算額	主要事業とする理由																																										
	6,505 千円	CLACITY 1～2階の所有権の一部をもつ半田市として、商業活性化は使命であるため																																										
	財源内訳	得られる成果																																										
	市費 1,216 千円	既存店舗の撤退を防ぎ、新たな事業展開による商業施設の賑わいづくり支援に寄与する。																																										
	国費 0 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値や目指すべき状態</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">クラシティの商業施設のテナントの充足率</td> <td>実績値</td> <td>80.0</td> <td>80.0</td> <td>88.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					目標値や目指すべき状態	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位	クラシティの商業施設のテナントの充足率	実績値	80.0	80.0	88.0	%	目標値	100.0	100.0	100.0	%		実績値					目標値					その他	実績値					目標値				
	目標値や目指すべき状態	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位																																							
	クラシティの商業施設のテナントの充足率	実績値	80.0	80.0	88.0	%																																						
		目標値	100.0	100.0	100.0	%																																						
	実績値																																											
	目標値																																											
その他	実績値																																											
	目標値																																											
0 千円																																												
0 千円																																												
その他 5,289 千円																																												
D 得られた成果と実績値	決算額	得られた成果																																										
	4,871 千円	ホームページやSNSでテナント紹介、弁当販売告知、イベント告知を行い定期的な利用客獲得に繋がった。平日にもワークショップを多数開催し、シニア層や親子連れ客の獲得につながった。2階に壁面ギャラリーを整備してアーティストの作品展示を行ったり、福祉事業所によるにぎわいテラスへの出店を始めた。新たな客層獲得の努力により、年度末には1階のカフェ出店や、空きテナントへの問い合わせ増につながった。																																										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>成果指標</th> <th>令和3年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">クラシティの商業施設のテナントの充足率</td> <td>実績値</td> <td>88.0 %</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>100.0 %</td> </tr> </tbody> </table>					成果指標	令和3年度	単位	クラシティの商業施設のテナントの充足率	実績値	88.0 %	目標値	100.0 %																														
	成果指標	令和3年度	単位																																									
クラシティの商業施設のテナントの充足率	実績値	88.0 %																																										
	目標値	100.0 %																																										
C 課題の整理	事業の評価・課題	<b>C</b> コロナ禍の影響を受けながらも、定着してきている定期イベント（ライフスタイルキッチン、テラスマルシェ）の開催により、日常的な認知度向上、リピーター獲得に繋がっている。また、1階にぎわいテラスでのお弁当販売は強い集客力があり、出店者が増えながらもすぐ売切になる日もあり、集客への貢献度が高い。 駐車場利用客は、市内の大規模拡大感染により2月に再び減少したものの、年度全体では昨年度に比べて回復した。今後は、コロナ禍で挑戦したコンテンツのうち、人気のあるものを定例化していく予定があること、テナント入店希望者が年度末に数件続き、新年度入店に繋がる見込みから、集客の向上に期待をもてる段階にある。																																										
A 課題の解決に向けた	今後の事業の方向性	<b>改善推進</b> コロナや天候に左右されない安定した集客のために、販売内容及び利用環境をより日常的な利用につなげるよう強化支援していく。具体的には、年度末に入店した1Fカフェの新規店舗が館内や中心市街地の情報発信拠点となり、「いつ行ってもお客さんがいっぱいを中心市街地の顔」としてのクラシティ作りを支援することで、空きテナントへの出店や利用者向上につなげる。																																										
	観点別評価	<table border="1"> <thead> <tr> <th>必要性</th> <th>有効性</th> <th>効率性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①市の関与の妥当性 妥当</td> <td>④上位施策への貢献 大きい</td> <td>⑦コスト ある</td> </tr> <tr> <td>②市民ニーズ 高い</td> <td>⑤成果向上の余地 ある</td> <td>⑧削減余地 ※手段の変更</td> </tr> <tr> <td>③休廃止の影響 大きい</td> <td>⑥類似事業の有無 ない</td> <td>⑧受益者負担適正化余地 ない</td> </tr> </tbody> </table>					必要性	有効性	効率性	①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト ある	②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	⑧削減余地 ※手段の変更	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない	⑧受益者負担適正化余地 ない																										
	必要性	有効性	効率性																																									
①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト ある																																										
②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	⑧削減余地 ※手段の変更																																										
③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない	⑧受益者負担適正化余地 ない																																										

予算見積書で活用

目標項目（予算計上時に作成）

主要施策の成果報告書で活用

評価項目（決算時に作成）